図書室便り　No.11　霧島市立溝辺中学校　2024.1

あけましておめでとうございます。新しい年になり、３学期がスタートしました！

今年も本と親しみ、みなさんの心に残るようなステキな本と出会えますように！そして、３年生にとっては中学校生活最後の学期です。残り少ない中学校生活ですが、たくさんの思い出を作ってくださいね。

2024年は「甲辰（きのえたつ」年です。

辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。また、たつ（竜、龍）は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年といわれています。

辰年のことわざ

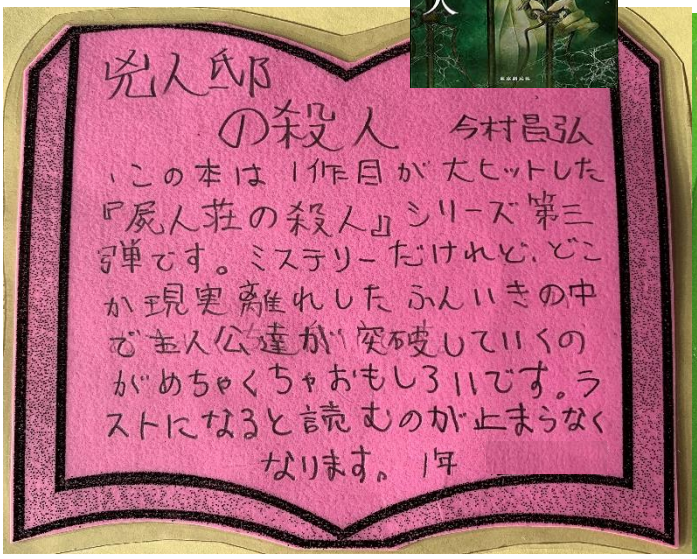
「昇竜」
空に昇っていく竜。勢いのよいさまにたとえる
「竜に翼」
もともと強い竜に翼を与えればさらにその力を増すことから、勢いの強い者に更に威力を添えることのたとえ。
「登竜門とうりゅうもん」
立身出世の関門のこと。 黄河の上流にある竜門は、流れが非常に急で、鯉がここを登ることができると、化して竜になるという伝説がある
「竜の水を得るが如し」
竜が水を得て雲を呼び、天にも昇る様な勢いのことで、力を秘めていた強いものが機会を得ていよいよその力を一層発揮すること

お知らせ

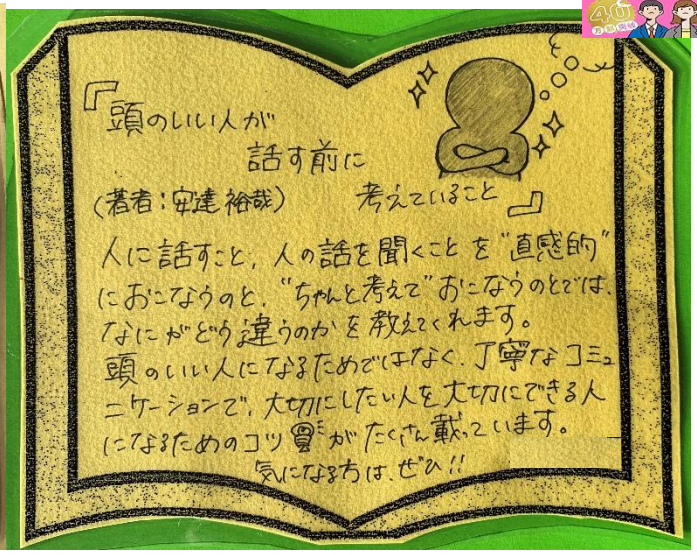
・冬休み前に借りた本は　1月12日(金)までに返却してください！

１月の学習部おすすめ本

１年　　K・T　さん
「兇人邸の殺人」
今村昌弘　著



事務科　　F・Y　先生
「頭のいい人が話す前に考えていること」
安達裕哉　著



新着本紹介

「ギネス世界記録２０２４」　　クレイグ・グレンディ著

世界記録を集めた年鑑本。今年は歴史を学び、地球の魅力を見つけてみよう。日本版オリジナルページでは、６年代連続でアルバム１位を獲得した松任谷由実さん、『かいけつゾロリ』作者の原ゆたかさんにインタビュー。フィッシャーズ、SCANDAL、プロ車いすテニスプレーヤーの小田凱人選手、『徹子の部屋』などの世界記録も掲載。

「ケモノたちがはしる道」　　黒川裕子　著

千里は、今どき中１女子。秋のある日母が突然、「熊本のジジさまのところへ行って、ケモノを獲ってみない?」と持ちかけた。いつもなら「行かない」と即答するところ。でもその日に限って、夕食の支度を手伝わされた時に見た、手羽先肉に残っていた羽に感じた違和感から、〈死んだ肉〉と〈生きた肉〉についてぐるぐると思い悩んでしまっていた千里は、思わず、「うん」と答えてしまった。祖父と猟友会仲間のおじいちゃんたちとの出会いと交流、そして罠にかけられ、目の前で命を仕留められて肉と化すシカやイノシシを見るうちに、千里の中で〈命〉への思いが揺らぎ、変化していく。

「私労働小説ザ・シットジョブ」　　ブレディみかこ　著

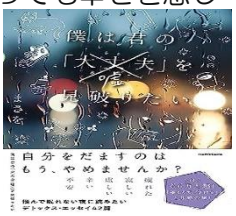
シット・ジョブ(くそみたいに報われない仕事)。店員、作業員、配達員にケアワーカーなどの「当事者」が自分たちの仕事を自虐的に指す言葉だ。他者のケアを担う者ほど低く扱われる現代社会。自分自身が人間として低い者になっていく感覚があると、人は自分を愛せなくなってしまう。人はパンだけで生きるものではない。だが、薔薇よりもパンなのだ。数多のシット・ジョブを経験してきた著者が、ソウルを時に燃やし、時に傷つけ、時に再生させた「私労働」の日々、魂の階級闘争を稀代の筆力で綴った連作短編集。

「ないものねだりの君に光の花束を」　　汐見夏衛　著

君だけが、本当の私を見てくれた。全てにおいて平凡で自分を〈永遠の脇役〉だと思っている高校生・影子。同じクラスの真昼は普段は世間を賑わすアイドルで、勉強や性格も完璧な人気者だ。そこにいるだけで目立つ彼はまさに〈永遠の主人公〉。生きる世界の違う真昼に引け目を感じ距離をとりたい影子だったが、一緒に図書委員を務めることになったのをきっかけに、誰も知らない彼の陰の一面を知ることになる。

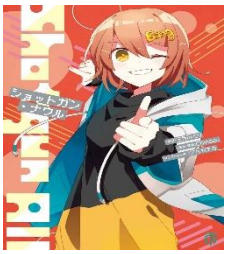
「ラストで君は「まさか！」と言う」　　櫻　いいよ他　著

真面目な人や、優しい人ほど、「大丈夫」なふりをする。自分をだますのは、もうやめませんか?悩んで眠れない日に読みたい「心の嘘を見破るデトックス・エッセイ」42 篇。一生懸命に頑張っても幸せを感じられないとき、不安なとき、悩み疲れて眠れない夜を過ごしているとき。気づかないふりをしていた自分の本当の感情に気づかせてくれる心を癒やしてくれる「優しくて切ない話」をあつめました。



「ショットガン・ナウル」　　三月みどり　著

夢ってどうやったら叶えられるんだろう。才能がなければ、ダメ?高校最後の一年は特別だった。桐谷くんと、たくさん遊んで、たくさん笑って。なによりハリウッド女優になるという私の夢も、彼は応援してくれて、アメリカに行くって決断もできた。だから、絶対に叶えてみせると思ってこっちに来たんだけど。やっぱ簡単じゃない。でも、私は絶対に諦めないよ! 桐谷くん



「小学館の図鑑　音楽」　　池辺晋一郎修

図鑑から音があふれ出す! 音楽の歴史、世界の楽約 300 種の楽器を紹介。スマホ等で演奏音源や動画もたっぷり楽しめます。今まで知らなかった音と出会える図鑑です。お気に入りの音を見つけたら、ぜひ本物を聴きにコンサートや演奏会に足を運んでてください

「考古学者が怖い目にあった話」　　角道亮介　著

ロマンだけでは食べていけないが、ロマンのない考古学なんてつまらない！ 墓石に閉じ込められたり、原因不明の病にかかったり、人骨と過ごしたり…… 発掘調査は命がけ！前代未聞、考古学者たちのノンフィクションエッセイ！

「本当は「ごめん」って言いたかった」　　内田裕士　著

誰もが人間関係を良くしたいと考えているにもかかわらず、なぜ多くの人が実践できていないのでしょうか？その鍵は「ごめん」の一言にあります。あやまることはなかなか難しいものですし、実際にあやまらなかった、あやまれなかったという経験も多いのではないでしょうか。しかし実は、あやまることがあなたの自己肯定感を最短で高め、人間関係を一番良くしてくれるコミュニケーションの鍵なのです。